プロフィール

2022年9月末日現在

ふくおかフィナンシャルグループ

連結子会社 25社

設立日	平成19年4月2日
本社所在地	福岡市中央区大手門一丁目8番3号
資本金	1,247億円
従業員数	7,850人
電話(代表)	092-723-2500
URL	https://www.fukuoka-fg.com/

格付情報

A+	R&I 発行体格付
A+	JCR 長期発行体格付

福岡銀行

設立日	昭和20年3月31日
本店所在地	福岡市中央区天神二丁目13番1号
資本金	823億円
従業員数	3,587人
本支店数	166(福岡県内148)
電話(代表)	092-723-2131
URL	https://www.fukuokabank.co.jp/

貸出金	11.4兆円
預金量	13.2兆円
格付	AA-*1 AA-*2 A3*3

熊本銀行

設立日	昭和4年1月19日
本店所在地	熊本市中央区水前寺六丁目29番20号
資本金	100億円
従業員数	818人
本支店数	69(熊本県内62)
電話(代表)	096-385-1111
URL	https://www.kumamotobank.co.jp/

貸出金	1.9兆円
預金量	1.6兆円
格付	AA-*1 AA-*2

十八親和銀行

設立日	昭和14年9月1日
本店所在地	長崎市銅座町1番11号
資本金	368億円
従業員数	2,035人
本支店数	179(長崎県内155)
電話(代表)	095-824-1818
URL	https://www.18shinwabank.co.jp/

貸出金	3.9兆円
預金量	5.6兆円
格付	AA-*1 AA-*2

*1 R&I 発行体格付　*2 JCR 長期発行体格付　*3 Moody's 長期預金格付

●海外拠点数(福岡銀行海外駐在員事務所):8
(香港、上海、大連、ニューヨーク、シンガポール、バンコク、台北、ホーチミン)

「FFG統合報告書2022」を発刊しました

「FFG統合報告書2022」を作成・発刊いたしました。新たに策定した長期ビジョン2030および第7次中期経営計画をストーリー立てて展開し、FFGの価値創造を分かりやすくお伝えしています。

FFG統合報告書2022 検索

●当社グループホームページ掲載場所はこちら
ホーム>株主・投資家情報>統合報告書

「個人投資家向け会社説明会」を開催しました

2022年10月、個人投資家の皆さまに向けた会社説明会をオンライン開催し、当社グループの成長戦略について説明を行いました。会社説明会資料をホームページに掲載しております。当社グループをより深くご理解いただくための参考になれば幸いです。

●当社グループホームページ掲載場所はこちら
ホーム>株主・投資家情報>IRライブラリー>個人投資家向け説明会資料

株主還元の充実

株主の皆さまに対する利益還元につきましては、利益成長を通じた安定的な配当(維持・増配)を基本としております。また、2022年度はFFG設立以来、初めて自己株式の取得を実施いたしました。今後もFFGの企業価値を高めることで株主価値の向上を図ってまいります。

商号等	株式会社福岡銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登録金)第7号	株式会社熊本銀行(登録金融機関) 九州財務局長(登録金)第6号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会	日本証券業協会
商号等	株式会社十八親和銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登金)第3号	FFG証券株式会社(金融商品取引業者) 福岡財務支局長(金商)第5号
加入協会	日本証券業協会	日本証券業協会 第二種金融商品取引業協会

●発行−2022年12月　●編集−株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部
〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3 TEL(092)723-2500(代表)

FUKUOKA FINANCIAL GROUP

FFG中間期ディスクロージャー誌2022
あなたのいちばんに。編

ふくおかフィナンシャルグループ

ごあいさつ

皆さまには平素より格別のお引立てをいただき、誠にありがとうございます。

FFGの営業基盤である九州の経済は、新型コロナウイルス感染症第7波もありましたが、経済活動との両立も進んでおり、総じて持ち直しの動きがみられます。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、資源高や円安ドル高が進行しました。

こうしたなか、今期は第7次中期経営計画で掲げました「顧客本位の営業への更なる進化」に向けた初年度として、お客さまの目標や課題を共有し、その課題解決に向けてさまざまなソリューションを提供する“ゴールベース型営業”の思想や考え方の組織浸透に注力しました。また、資源高、円安について、お取引先の実態調査を実施し、資金繰り支援が必要なお取引先に対して積極的な対応を行いました。

その結果、2022年度上半期決算は、中小企業向け貸出金が増加するなど業容は拡大し、損益についても、連結中間純利益は2期連続の増益と順調な決算となりました。

これからも、第7次中計で掲げる「DX戦略」を軸とした「営業改革」「業務改革」といった重要施策をしっかりと進めることで、「地域社会の課題解決」と「FFG企業価値の向上」の好循環サイクルを創出し、“豊かな地域社会の実現”を目指してまいります。

皆さまには、今後ともなお一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

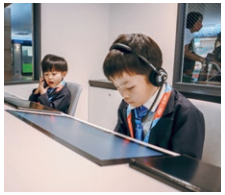
TOPICS

投信のパレット
サービス残高
2,393億円
お申込者数:47,685人
(2022年11月末時点)
資産づくりに「てあっさ」を。 投信のパレット

みんなの銀行
世界三大デザイン賞
iFデザイン アワード受賞
iF DESIGN AWARD 2022

「キッザニア福岡」へのパビリオン出展

「三井ショッピングパークららぽーと福岡」内の「キッザニア福岡」に、「福岡銀行」としてパビリオンを出展いたしました。子どもたちは、お客さまとして銀行口座の開設やキッザニア専用通貨「キッゾ」の入出金をしたり、銀行員としてオンライン口座開設業務やお問い合わせ対応業務を体験します。銀行の役割やお金の大切さを伝え、金融リテラシーの向上とともに、子どもたちの成長・育成につながることを期待しています。



詳細はFFGHPへ▶

「SDGsコスメリサイクルデー」「SDGsフードロス梨デー」の開催

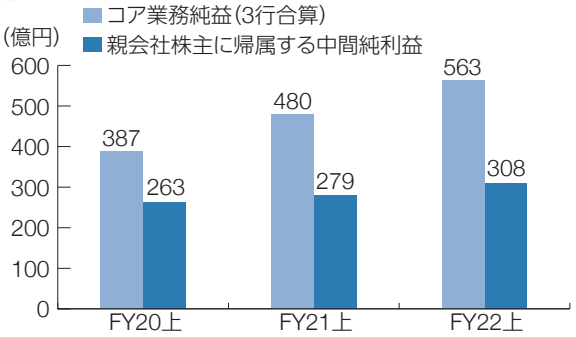
熊本市城東町にオープンした「SDGs広場」にて、7月9日(土)に「SDGsコスメリサイクルデー」を開催。不要になった化粧品を回収し、絵の具・キャンドル等にリサイクル加工したものを、イベント当日に子どもたちがスライム作りやキャンドルすくいなどの体験イベントで楽しみました。また、10月15日(土)には、同広場にて「SDGsフードロス梨デー」も開催。温暖化で日焼けして出荷されない規格外の梨と、植物から代替プラスチック原料を作るメーカーが提供するサステナブルストローを使ったスムージーの販売を行い、スムージーを味わいながらフードロスの現状を知ってもらうことができました。

業績ハイライト (2022年度中間期)

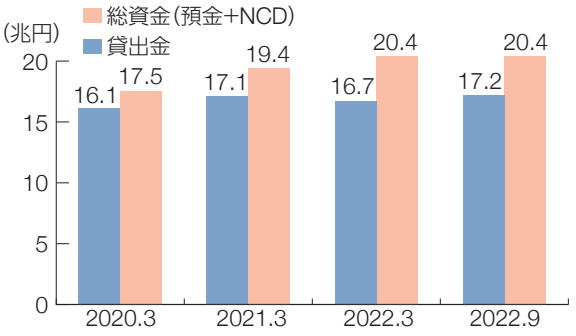
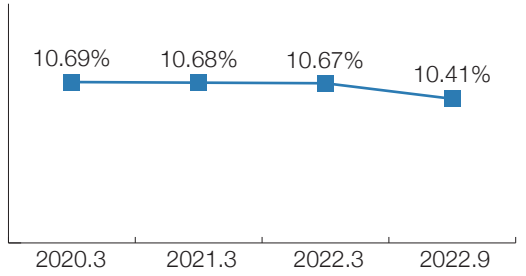
■福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行の3行合算の損益情報

コア業務純益(3行合算)は前中間期比+83億円増加の563億円、親会社株主に帰属する中間純利益は同+28億円増加の308億円となりました。

業績推移



預貸金末残(連結)



連結自己資本比率